

【初診オンライン相談（ビデオ通話によるもの）についての説明書】

オンライン診療を受けるに当たり、以下の注意事項を確認してください

- 1) オンライン診療を実施する際は、患者がその利益および不利益等を十分に理解し、オンライン診療を実施する旨について医師と患者の間で合意がある場合に行います
- 2) オンライン診療による診療が適切でない場合には、速やかにオンライン診療を中断し、対面による診療に切り替えることが求められます
- 3) オンライン診療で行う診療内容
 - ・不妊相談
- 4) 診療時間に関する事項
 - ・電話を用いて事前に予約を行う・Web問診票の送信
- 5) オンライン診療の方法・使用する機器・利用料金
 - ・患者側：スマートフォン、タブレット、パソコン
 - ・医師側：医療機関のパソコン、タブレット端末等の情報通信機器
 - ・利用するオンライン診療システム：ZOOM
 - ・利用料金：無料
- 6) 患者による情報伝達の協力

オンライン診療の実施に際し、患者は積極的に診療に協力し、自身の心身に関する情報を医師に伝達する必要があります

- 7) 情報漏洩等のリスクを踏まえてセキュリティリスクに関する責任分界点等の明示
 - ・想定されるセキュリティリスク
医療機関・オンライン診療システム提供事業者に対するサイバー攻撃等による患者の個人情報の漏洩・改ざん等
 - ・医療機関およびオンライン診療システム提供事業者に課される事項
オンライン診療の適切な実施に関する指針に定める情報セキュリティに関するルールを厳守したシステムを構築し、常にその状態を保つこと
 - ・医師に課される事項
セキュリティリスクを十分に勘案したうえでオンライン診療システムを選択すること
患者及び医師がシステムを利用する際の権利、義務、リスク等を明示し、かつ情報漏洩等のセキュリティリスク、医師、患者双方のセキュリティ対策の内容
患者への影響等について、平易に説明できるオンライン診療システム提供事業者を選択すること
- なお、患者の行為により、セキュリティ事案や障害等が生じた場合、発生した直接的、間接的、その他すべての損害について医師は責任を負いません
- 8) オンライン診療に伴うセキュリティおよびプライバシーのリスクに関連して患者様には以下の注意事項を守っていただくようお願いいたします
 - ・患者は使用するシステムに伴うリスクを把握する
例) 生じるリスク：スマートフォンの紛失や、ウイルス感染に伴う医療情報の漏洩等
取りうる対策：パスワード設定、生体認証設定、ウイルスソフトのインストール等
 - ・患者はオンライン診療を行う際は、使用するアプリケーション、OSが適宜アップデートされることを確認する
 - ・患者は医師側の了解なくビデオ通話を録音、録画、撮影は行わない
 - ・患者は医師のアカウント等情報を診察の関わりのない第三者に提供しない
 - ・患者は原則、医師側が求めない限り、あるいは指示に反してチャット機能の利用やファイルの送付などは行わない
特に外部URLへの誘導を含むチャットはセキュリティリスクが高いため行わない

以 上